



清水ヒデキ  
豪援隊隊長・

弁護士・移民コンサルタント  
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。



Grind Me Coffee Co  
1/18 Mountainview Ave,  
Miami QLD 4220  
(07) 5535 6473  
[www.grindme.com.au](http://www.grindme.com.au)

Miami で美味しいコーヒーが飲みたくなったら、このお店！  
Grind Me Coffee Co オリジナルブレンドの本格的なコーヒーが売りものです！コーヒーと美味しいデザートを味わってホッと一息。立ち寄りついでに、お持ち帰り用の7種類のブレンドパック250g, 500g, and 1kg もとってもお勧めです。  
6 a.m. ~5 p.m. 7days Open  
余談ですがオーナーは素敵な独身ですよ。  
このお店の、Facebook を探して気に入って下さったお客様には只今1杯無料でコーヒーをサービス中です。  
是非、是非、行って見てください。

### <今月の視点>

オリンピックが開幕し、オーストラリアも終日その話題で持ちきりです。ロンドンオリンピックならではの、Mr ビーンも出てきたり、イギリスという国の奥深さを改めて感じる開会式でした。そこで、今月の視点はオリンピックにまつわる話題です。

#### その1 消えた日本代表

日本でも、開会式の聖火点灯時に係りの誘導ミスで開会式会場から日本代表団が消えてしまったということが騒がれましたが、オーストラリアでは入場行進の際に日本代表団が消えてしまいました。と言っても、テレビ中継中ですが、ご存知の通りアルファベット順でいくと日本はジャカルタの次。ジャカルタと言えば、旗手も務めた世界最速の男ポルト選手が居る国であることを言うまでもありません。オーストラリアの放送では、ポルト選手の話でとても盛り上がり、日本のチーム紹介をすることなく、日本の次に入場してきたヨルダン(Jordan)、英語ではジョーダンへ飛ばされてしまい、日本人チーム団はオーストラリアでは放送されない幻のチームとなってしまいました。正に、ジョーダンじゃないよ！(鬼瓦権造風)

#### その2 水泳王国オーストラリアの崩壊その1

水泳では絶対的な強さを誇っていたオーストラリアも、今回のオリンピックでは少し影が薄くなってしまいました。日本も善戦しましたが、その代わりに台頭してきたのは、中国。以前から、関係者の人から中国の選手に次回のオリンピックは注目だ、と言われていましたが、まさかここまでとはというのが感じます。この中国人水泳選手の多くを影で支えているのが、何とオーストラリア人水泳コーチ達。かつて、何人もメダリストを送り出したコーチ達が今は中国の選手たちの指導も行っています。それに対して、売国行為と非難する声もありますが、実際にコーチ達も人の子。同じコーチングをして報酬を受けるのであれば、オーストラリアでもらえる何倍の報酬をもらえる国と契約をしたほうがベターということになります。実際に教えた選手がメダル獲得をすとかかなりの金額のボーナスももらえるとか。やはり、国を挙げて選手育成をしている国は強いですね。

#### その3 水泳王国オーストラリアの崩壊その2

金メダルを絶対視されていた数人のオーストラリア選手が残念ながら金メダルを取得できませんでした。そのうちの選手の一人はツイッターやファースブック等のソーシャルメディアの影響を口にしていました。今までの応援ファックスを送ろう、と異なり、各個人が選手に個人的なメッセージを送れる様になりました。選手たちも、それを受け取り、もちろん時には励まされ試合に臨んだわけですが、そこから受けたプレッシャーに苦しんだということです。普段からそういったプレッシャーに慣れていると思われた選手も、4年に一度のオリンピックのプレッシャーは別物だったようです。

#### その4 水泳王国オーストラリアの崩壊その3

少し前までオーストラリアの水泳黄金期を支えたのイアン・ソープやグラント・ハケット。彼らは金メダル確実と言われていた状況で、きっちり結果を残しました。金メダルを取って当たり前ということ、を、当たり前になってのけた彼らは改めてすごい選手であったなあと思います。そんな中、オーストラリア水泳界の「蝶々婦人」といわれたスージー・オニールが一言、「最近の若い選手は、練習を一生懸命やっていないからよ。」プレッシャーなどではなく、ここ十年の選手たちの練習態度を指摘。前述の中国人選手たちと比べたら、練習への真剣度が欠けていたようです。彼女のコメントに対しては賛否両論ありますが、職場見ていると彼女の言っている意味が何となく分かる気がします。

#### その5 感謝の言葉

オーストラリアや海外のメダルを取った選手が、「まずは両親に感謝をしたいです」とよく口にします。(日本では、身内に感謝する前に他人に感謝をしますが。)  
「ローマは一日して成らず」と言いますが、オリンピック選手も一朝一夕でなれるわけではありません。どんなに才能のある選手も、長年の練習の積み重ねが必要です。例えば、水泳。オーストラリアでは、子供が小さい頃から水泳を習わせる親が多いですが、その中でも才能のある子はそれぞれのスイミングクラブの強化チームに入り、そこでますます練習をして力をつけていきます。スイミングクラブの強化チームに入りますと、週4日の練習。早朝練習は朝5時から、学校が終わったらまた4時から練習、そして6時過ぎまで泳ぎます。週末は各地での試合、大会への参加。ご存知の通り、オーストラリアは広い国なので、日本のように子供だけ、ちょっと歩いてという訳にはいきません。移動には車が必要です。そこで、子供の専属タクシーサービスを親たちがするわけです。毎朝4時におきて、その子の弁当を作って、早朝練習のためプールへ送っていく。そして、また家に戻って他の子供たちの学校の準備をさせ、練習に出かけている子供をプールに迎えにいき、そのまま学校へ。学校が終わると、学校に迎えに行き、そのままプールへ直行。そして、他の子供を家につれて帰り、宿題を見て、それから夕食の支度をします。そして、練習が終わる子供をプールへ迎えに行き、家に戻り夕食、そして夕食の後も子供の宿題をみてあげる。大会や遠征も、自費で参加しなければならぬわけですから、親の負担はたいへんなものとなります。そして、これが10年近く続くわけです。自分たちの生活を犠牲にして、選手たちのために働き続けた選手たちの家族は正に選手の活躍が生きがいになるわけで、やはり最初に感謝されてもバチは当たらないですね。

### <今日の商売とビジネスに役立つ格言>

「元気が一番、元気があれば何でもできる。」

アントニオ猪木 (元プロレスラー、元参議院議員、事業家)

### <今月の注目記事 その1>

Mining boom over in two years, Deloitte Access Economics predicts  
(資源ブームあと2年で終わるー2012年7月23日付け)

「始まりがあれば、終わりが来る。」とは、物事の常です。オーストラリアの2重経済を支えてきた資源ブームも、あと2年で終わるであろうシンクタンクの一つである Deloitte Access Economics 社が、オーストラリア経済の将来に関してコメントしました。今後の見通しとして大規模な資源プロジェクトが先細り傾向にあること、それから世界経済の混乱の影響をオーストラリアも受けることがこの原因にあるとしています。資源業界の好況に最も恩恵を受けているのが西オーストラリア州だという調査結果もこの記事には紹介されています。オーストラリアの本当の経済状況を知るには、西オーストラリア州を除けば分かると言われていたのに、資源業界の影響は多大なものとなっています。この経済状況も残り2年となりますと、けいきの活性化を優先せず緊縮策を取った政府の予算案にますます注目が集まります。ただでさえ、不評予算であったのがこれをもって更に不景気呼び込み予算と言われかねないようです。

### <今月の注目記事 その2>

ゴールドコーストに大型フェリーターミナル建設  
Gold Coast Bulletinー2012年7月27日付け

以前から話にありましたフェリーターミナルが、サウスポートブロードウォーターに建設されるということで、その建設を請け負うシンガポールの会社が、その計画を発表しました。総工費5億ドルをかけて行われる建設だそうで、そのターミナルにはカジノ、1500部屋のホテルも併設されるということです。ゴールドコーストで2018年に開催されるコモンウェルスゲームまでに完成する予定ということです。観光地として、少し翳りの見えているゴールドコーストですので、こういった大規模なプロジェクトで盛り上げてもらいたいものです。

### <今月のジョーク！ その1>

全然関係ないんだけどさ、バイト先に西川笑子ちゃんってのが居てさ、もう一人西川さんってのがいるから、笑子ちゃんのネームプレートが西川(笑)なんだよね。

(ジョーク集より)

### <今月のジョーク！ その2>

うちの父は、沖縄に向かう飛行機の中でエラソ〜に、「沖縄は島全体が『さんしょうお』なんだぞ！」と言った。それを言うなら、サンゴ礁だろ！！ -

### <今月のジョーク！ その3>

メキシコの田舎町。海岸に小さなボートが停泊していた。メキシコ人の漁師が小さな網に魚をとってきた。その魚はなんとも活きがいい。それを見たアメリカ人旅行者は、「すばらしい魚だね。どれくらいの時間、漁をしていたの？」と尋ねた。すると漁師は「そんなに長い時間じゃないよ。」と答えた。旅行者が「もっと漁をしていたら、もっと魚が獲れたんだろうね。おいしいなあ。」と言うと、漁師は、自分と自分の家族が食べるにはこれで十分だと言った。「それじゃあ、あまった時間でいったい何をするの？」と旅行者が聞くと、漁師は、「日が高くなるまでゆっくり寝て、それから漁に出る。戻ってきたら子どもと遊んで、女房とシエスタして。夜になったら友達と一杯やって、ギターを弾いて、歌をうたって…ああ、これでもう一日終わりだね。」すると旅行者はまじめな顔で漁師に向かってこう言った。「ハーバード・ビジネス・スクールでMBAを取得した人間として、きみにアドバイスしよう。いいかい、きみは毎日、もっと長い時間、漁をするべきだ。それであまった魚は売る。お金が貯まったら大きな漁船を買う。そうすると漁獲高は上がり、儲けも増える。その儲けで漁船を2隻、3隻と増やしていくんだ。やがて大漁船団ができるまでね。そうしたら仲介人に魚を売るのはやめだ。自前の水産加工工場を建てて、そこに魚を入れる。その頃にはきみはこのちっぽけな村を出てメキシコシティに引っ越し、ロサンゼルス、ニューヨークへと進出していこう。きみはマンハッタンのオフィスビルから企業の指揮をとるんだ。」漁師は尋ねた。「そうなるまでにどれくらいかかるのかね？」「20年、いやおそらく25年でそこまでいくな。」「それからどうなるの。」「それから？ そのときは本当にすごいことになるよ。」と旅行者はにんまりと笑い、「今度は株を売却して、きみは億万長者になるのさ。」「それで？」「そうしたら引退して、海岸近くの小さな村に住んで、日が高くなるまでゆっくり寝て、日中は釣りをしたり、子どもと遊んだり、奥さんとシエスタして過ごして、夜になったら友達と一杯やって、ギターを弾いて、歌をうたって過ごすんだ。どうだい。すばらしいだろう。」

(ジョーク集より)

### <今月のジョーク！ その4>

ジョンが雑誌を読んでいると広告欄に【10ドルで簡単にお金を稼ぐ方法を教えます】と書かれていた。早速ジョンは10ドルを封筒に入れてあて先の住所まで送った。次の日、手紙が送られてきた。手紙にはこう書いてあった。「私と同じことをしなさい」

このかわら版、またはピザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！



ALC ビザコンサルタント

QLD 州以外の方にも、ご利用しやすくなりました！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite7, 155 Varsity Parade Varsity Lakes QLD 4227  
シドニー事務所 住所: 24 Lewis Way Newington NSW 2127

電話: 1300 365 811, +61-7-5630-6505, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)  
E mail : [info@alcvisa.com](mailto:info@alcvisa.com) Website : [www.alcvisa.com](http://www.alcvisa.com)

東京事務所 (担当: 西川・松本)

〒170-0013  
東京都豊島区東池袋  
4-25-12 池袋今泉ビル 6F

電話: +81-3-3985-6003  
Fax: +81-3-3985-6009